

JASIS

NEWS

No. 72

2023/10/5

日本インテリア学会会報

■会長挨拶

学会会長 横山勝樹（女子美術大学教授）

日本インテリア学会第35回大会（東海）が10月28日から29日まで名古屋工業大学で開催されます。大会長の河辺伸二先生ならびに実行委員長の中井孝幸先生、副委員長の河田克博先生をはじめ大会準備にご尽力を賜った東海支部の皆さまに御礼を申し上げます。本会ではCOVID-19のパンデミック以降はじめての対面式開催となります。新たな変異種のウィルスも増えていますから、引き続き各自の感染防止への注意は必要ですが、発表会場、見学会場や懇親会場での研究交流が活発に行われることを期待しています。

コロナ禍においては、ソーシャルディスタンスという言葉が一般に流布しました。しかし私たちの分野で長年親しんだニュアンスとは多少異なる言葉の使われ方に違和感を抱きもしました。人と人の距離を適切にコントロールする空間をデザインすることで、人々の交流機会を作り出すというポジティブな面よりも、他者から離れてコミュニケーションを避けるネガティブな側面のみがこの言葉の意味だと人々に捉えられた気がして残念に思います。

そのような中で、ニューヨーク連邦銀行の経済学者ナタリア・エマニエルらが「同僚との近接の力-明日のためのトレーニングか今日の生産性か？（THE POWER OF PROXIMITY TO COWORKERS -Training for Tomorrow or Productivity Today?）」と題するワーキングペーパーを公開しました（https://nataliaemmanuel.github.io/ne_website/EHP_Power_of_Proximity.pdf）。内容をかいつまんで記すと次のようなことです。ある企業のITエンジニアの仕事が、作ったプログラムコードの量と同僚か

らのチャットによるフィードバックの量で計られました。エンジニアは数人のチームで働いています。この会社は2つのビルに分かれていて、全員が同じビルにいるチームと2つのビルにメンバーが分かれているチームがあります。ビルは往復で徒歩20分位離れていてメンバーが2ヶ所に分かれたチームはコロナ以前からミーティングはオンラインでした。この2種類のチームの仕事がコロナで全員在宅勤務になる前と後で比較されました。結果は全員同じビルにいるチームの若手エンジニアは2つのビルに分かれているチームの若手エンジニアより27%多くのフィードバックを受けている一方で、先輩エンジニアの作ったプログラムの量は、全員同じビルにいるチームの方が39%少ないということでした。しかしパンデミックで会社が閉鎖され在宅勤務で全員が分散すると、このような2種類のチームの違いは縮まりました。この結果から彼女たちが導いた結論は、全員が近くで仕事をするチームでは先輩は後輩へのメンターシップで時間を割き企業の短期的業績は下がる、しかし後輩は多くのことを先輩から学ぶことができ長期の業績は上がるであろう（その暫定的な検証もされていますが長くなるので省きます）。つまりそれが「近接の力」だということです。

オンラインで開催された大会でも研究発表は滞りなく行われましたし、オンライン見学会も趣向が凝らされていて楽しく視聴できました。昨年度までご苦労された実行委員会の皆さまには改めて御礼申し上げます。私ごとですが、昨年の大会は学務のスケジュールと重なってしまいましたので、オンラインでなければ参加できませんでした。今後ともオンラインのメリットを活かした学会活動は必要だと思います。ただ学会にも近接の力は必要だと思います。それによって新しい研究と若手研究者が育まれることを今後とも期待したいと思っています。

■2023年度（令和5年度）日本インテリア学会通常総会 議事録

〈記録〉曾根

日 時：2023年7月1日（土）13：30～14：15

会 場：千葉工業大学 津田沼キャンパス

出席者：直井、横山（勝）、上野（義）、片山（勢）、渡邊（秀）、市岡、近藤（正）、白石（光）、高月、高柳、中井、長山（信）、棒田、松崎、曾根（理事15名）、内田（和）、大崎、加賀屋、来海、清水、橋本（都）〈評議員6名〉、角田〈監事1名〉、佐伯、山田（智彦）〈正会員2名〉（合計24名）

配布資料：

- 1）2023年度（令和5年度）日本インテリア学会総会資料
- 2）日本インテリア学会 令和5～7年度 理事・評議員・監事名簿
- 3）第30回卒業作品展のお知らせ

議 事：

1. 開会宣言・会長挨拶

直井会長からの挨拶の後、白石総務委員の進行で議事に移った。

2. 定足数の確認

出席者は24名、委任状89通、合計113となり、総会の成立に必要な定足数（正会員293名の1／4以上：会則15条）を満たしていることが確認された。

3. 議長団選出

議長および書記の選出に際し、総務委員会案により議長を直井会長、書記を曾根総務委員、議事録署名人を市岡理事・高柳理事の2名に依頼し、直井会長の進行により議事に移った。

4. 第1号議案：2022年度（令和4年度）事業報告および収支決算報告の件

- ・松崎総務委員長より、2022年度（令和4年度）の事業報告および決算報告（案）について、資料にもとづき説明がなされた。
- ・〈収入の部〉は、予算額合計が6,535,578円、決算額の合計が7,872,027円、差額が1,336,499円であった。
- ・〈支出の部〉は、支出計が3,679,493円、次年度繰越金が4,192,534円、決算額の合計は、7,872,027円であった。
- ・監査結果は問題ないことが報告された（市岡先生）。
- ・以上の説明にもとづき、審議の結果、2022年度（令

和4年度）の事業報告および決算報告は、資料の通り異議なく承認された。

5. 第2号議案：2023年度（令和5年度）事業計画および収支予算の件

- ・松崎総務委員長より、2023年度（令和5年度）の事業計画および収支予算（案）について、資料にもとづき説明がなされた。
- ・予算（案）〈収入の部〉の予算額は、繰越金4,192,534円、会費収入2,788,500円、事業収入700,000円、雑収入10円（利息）で合計7,681,044円とした。
- ・予算（案）〈支出の部〉の予算額は、事務局経費850,000円、旅費350,000円、印刷費1,400,000円、通信費140,000円、会議費50,000円、委員会活動費1,150,000円、支部活動費420,000円、調査研究費200,000円、大会準備費550,000円、予備費1,200,000円、以上の支出計6,310,000円と繰越金1,371,044円の合計は7,681,044円とした。
- ・以上の説明にもとづき、審議の結果、2023年度（令和5年度）の事業計画および予算（案）について、資料の通り異議なく承認された。

6. 第3号議案：2023～2025年度（令和5～7年度）役員改選の件

- ・選挙管理委員の曾根委員長より、選挙の経過について説明がなされた。
- ・選挙で選ばれた94名の評議員が承認された。
- ・評議員の互選による14名、支部長6名を理事とするという臨時理事会の提案が承認された。
- ・会長推薦の理事を4名（井上（徹）、江川、曾根、横山（勝）（敬称略））とすることについての臨時理事会の提案が承認され、理事は合計24名となった。
- ・評議員の互選による14名のうち2名辞退者がいるので、現況の理事は合計22名であることが報告された。
- ・臨時理事会において、現理事による会長選挙を行った結果、横山勝樹先生が会長として推薦されたことが報告され、審議の結果、承認された。
- ・臨時理事会において、副会長として片山先生、渡邊（秀）先生、上野（義）先生が推薦されたことが報告され、審議の結果、承認された。なお、有事の際の会長職代行の順序を上記とすることも併せて提案され、承認された。
- ・臨時理事会の推薦にもとづき、顧問として、直井先生が承認された。
- ・評議員による信任投票の結果にもとづき、監事として、佐藤公信先生、角田静香氏が承認された。

7. 名誉会員の推薦について

- ・名誉会長として直井英雄先生、名誉会員として、上野弘義氏、佐藤公信先生、内田和彦氏、棒田邦夫先生の4名が総務委員会より推薦され、承認された。

8. その他

- ・第35回大会の準備状況について、大会実行委員会の中井実行委員長より報告があった。2023年10月28日・29日、名古屋工業大学を会場として対面形式で開催する。見学会は桑名市の諸戸家住宅等を予定していることが伝えられた。
- ・表彰委員会の高月委員長より、第30回卒業作品展開催のお知らせと応募の依頼があった。総会の後に作品を公募する。今年も展覧会はWebで実施する予定。会員外の学生でも応募可能なので、ぜひ参加いただきたい旨が伝えられた。
- ・次年度の第36回大会について、北陸支部の棒田前支部長および長山（信）支部長より、富山大学を会場として実施予定との報告があった。
- ・学会の新ホームページが公開されたことについて、広報委員会の棒田委員長より報告があった。各支部・研究部会・委員会等で積極的に情報発信し、活用していただきたい旨が伝えられた。
- ・新会長となる横山勝樹先生より、会長就任にあたっての挨拶があった。

以上



シンポジウム「インテリア学会のこれから」



懇親会



総会



シンポジウム

■第35回大会（東海）開催報告

大会実行委員長 中井孝幸（愛知工業大学）

本年度の大会は東海支部が担当し、名古屋工業大学を拠点に開催いたします。コロナ禍が完全に終息したわけではありませんが、卒業作品展を除く全ての日程を対面式で実施します。対面式による研究発表会、記念講演会、パネル展示をはじめ、現地での見学会や研究交流懇親会も計画しています。

見学会は、三重県桑名市の諸戸家住宅（西諸戸）と六華苑（東諸戸）をご案内します。諸戸家住宅は、建築家の鈴木禎次が設計に関わり、昨年度に大規模な改修工事が終了した主屋や洋館、庭園を見学します。また、ジョサイア・コンドルが設計した六華苑などを自由に見学して頂きます。尚、見学先の都合もあり、先着40名までとします。記念講演会は、都市研究所スぺーシア顧問の井澤知且氏に、インテリアと公共空間の新たな関係性についてご講演していただきます。

久しぶりの対面での参加となり、行き届かない点もあるかもしれませんが、多数の研究発表、大会のご参加をお待ちしております。

■10月28日（土）13：00～17：00

見学会 13：00～17：00（受付12：30～）
諸戸家住宅〔西諸戸〕、六華苑〔東諸戸〕（三重県桑名市）
諸戸氏庭園主屋玄関前（桑名駅より徒歩15分）13時集合
事前に先着順で申込済みの40名（歴史部会と共催）

研究交流懇親会 18：30～20：30（受付18：00～）
Arcoba（アルコバ）着座ビュッフェ形式（TEL 052-211-9955）
（名古屋市中区丸の内3-19-14 RAYARD Hisaya-odori Park）
名古屋市営地下鉄・久屋大通駅A出口（エレベーター）徒歩1分

■10月29日（日）9：30～17：30

開会式 9：30～9：45（受付9：00～）
研究発表会 名古屋工業大学2号館各所
10：00～12：00、13：30～14：30
理事会 名古屋工業大学2号館1階
12：00～13：15
記念講演会 名古屋工業大学2号館1階
14：45～16：15
講師 井澤知且（都市研究所スペーシア顧問）
「インテリアと公共空間の新たな関係性を探る ―公共空間に滲み出るインテリアからの考察―」
閉会式 名古屋工業大学2号館1階
16：30～17：30
閉会式・名誉会員表彰・学生口頭発表優秀賞

■卒業作品展 日本インテリア学会ホームページにて公開予定



諸戸氏庭園

■大会ホームページ：<https://www.jasis-interior.jp/function/>

■令和5年度委員会だより

□総務委員会

委員長 松崎 元（千葉工業大学）

7月1日土曜日、千葉工業大学にて3年ぶりに対面での理事・評議員会、総会が開催され、昨年度の事業報告および収支決算報告、今年度の事業計画および収支予算、改選された役員について承認されました。終了後には、シンポジウム形式で、会長を勇退し顧問に就任された直井英雄名誉会長から「インテリア学会のこれから」と題して講演を賜り、インテリアの概念、建築領域との比較、論文審査の経験から、研究対象としてより広く捉える考え方など、学会のこれからのつながる多くの示唆をいただきました。続けて後半には、横山新会長、上野副会長、片山副会長、渡邊副会長も登壇し、「インテリア学会のこれから」が行われました。学会設立当初の状況、インテリアの領域が持つ他学会と異なる特徴について、文化や教養としてのインテリアのあり方など、直井名誉会長のご講演を受けて、インテリア分野の広がり可能性に関する意見交換が行われました。また、これからの学会がどうあるべきか、いかに若手研究者に参加してもらうか、学会を刺激のある楽しい場に、どのようにして会員の居場所を作るかなど、参加者からも今後の本学会への期待が多く述べられました。限られた時間ではありましたが、その後の懇親会でも引き続き活発な情報交換が行われ、大変有意義な機会となりました。11年にわたり第3代会長として、コロナ禍の苦境にも対応し、ご尽力いただきました直井名誉会長に紙面を借りて心より感謝申し上げます。

総務委員会は、横山会長の下、副会長、顧問の直井名誉会長にご助言をいただきながら、会議運営と活性化のための場づくりに務めて参ります。そのためには会員の皆さまには、支部活動、部会活動、研究成果の発表など、より一層のご参加をお願いいたします。引き続きご指導ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

□国際委員会

委員長 ペリー史子（大阪産業大学）

今回はありません。

□論文審査委員会

委員長 渡辺秀俊（文化学園大学）

論文報告集34号は投稿募集中です（9月30日締切）。AIDIA Journalは今年も事務局から募集案内がありませんでした。アーカイブ化委員会のご尽力により、論文報告集30号まではJ-SATGEで閲覧可能です。発刊済みの31～33号をJ-STAGEにアップすること、将来的には論文報告集をデジタル発刊すること、論文の投稿受理等の通知をフォームにより自動化することが今後の課題です。現在、本委員会は、渡辺秀俊委員長、村井裕樹副委員長、片山勢津子委員、橋本都子委員、上野友輝委員、大崎淳史委員、高橋正樹委員の7名で運営しています。よろしく願いいたします。

□広報委員会

委員長 棒田邦夫（金沢学院大学名誉教授）

当学会の新ホームページが6月1日に公開しました。会員の皆様のご理解とご協力の賜物と感謝申し上げます。また、操作説明会には積極的にご参加をいただき心より御礼申し上げます。新しいホームページは、「誰もが見える、触れる、わかる」ことを願ってつくりました。トップページの新着情報では、会員のセミナー、部会・委員会のセミナー、支部のイベントがご覧いただけるようにしました。開催行事がございましたら積極的にお知らせください。（写真-1）

データは以下の広報委員会メールアドレスまでお送りください。

広報委員会メールアドレス
jasis.kohoiinkai@gmail.com

機能につきましては、

1. 新着情報のタイトルをクリックすると情報内容を見ることができます。（写真-2）さらに、詳しくみたい場合には関連ページへジャンプができるボタンを配置することができます。
2. 画像と文字を横一列に配置できます（写真-3）。また画像の貼り込みが横一列に最大3枚まで並べることができます。さらに、YouTubeの貼り付けもできます。
3. 委員会、部会、支部のページでは、セミナー・見学会などの掲載がわかりやすいようにGoogle MapやYoutubeの配置ができます（写真-4）。

これまでとは違い多くの情報が視覚的に見れるようになり、学会の重要な事業である大会・査読論文・期限付き研究投稿・入会申込などがトップページから直ぐに取れるように「わかりやすさ」への配慮もしました。

会員の皆様の活動・表現の場にお使いいただけるものと思っております。どうぞお気軽にご利用ください。



写真-1



写真-2



写真-3



写真-4

表彰委員会

委員長 高月純子（女子美術大学）

第35回大会は待望の対面での開催となり、学生論文発表では直接会場で表彰できることを励みに、準備を進めています。一方、卒業作品展は多くの人にご覧いただける利点を活かすため、Web展示形式で実施する予定です。卒業作品展は今回第30回を迎えますが、合計46校（大学37校、短期大学3校、専門学校5校、高等学校1校）もの教育機関に参加登録をいただきました。卒業生の皆様、教育機関の関係者の方々に厚くお礼を申し上げます。指導教員の皆様から頂いた作品に対する解説文も作品と共に掲載致します。こちらは、それぞれの学校のインテリア教育の多様性と、新しいインテリアの在り様、若い人への思いを伝える「ことば」を頂いていると実感しています。作品と併せてどうぞご覧いただけますよう、よろしくお願いします。



令和5年度研究部会だより

歴史研究部会

部会長 河田克博

今回はありません。

人間工学研究部会

部会長 白石光昭

コロナ禍を挟んで、数年活動が滞っていることをお詫びいたします。コロナ前までは見学会や研究会を実施しておりましたので、今年度は少しずつ以前の活動を復活させたいと考えております。また、新しいホームページができましたので、活用していきたいと考えていますが、まだ準備不足で掲載はできておりません。今しばらくお待ちください。

従前からお願いしておりますが、会員の皆様からも活動内容のご希望があればぜひご連絡下さい。また、部会の活動に関心がある方もぜひご連絡下さい。お待ちしております（shiro150301@gmail.com）。

教育研究部会

部会長 金子裕行（千葉県立市川工業高等学校）

今回はありません。

期限付き研究部会

部会長 渡辺秀俊（文化学園大学）

今年度から期限付き研究部会を担当させていただきます

す。どうぞよろしくお願いいたします。令和5年度も期限付き研究部会（2年間）を設置します。現在の時期に適した研究または基礎的な研究等を目的とした期限付き研究部会を公募しますので、多くの会員の皆様からの申請をお待ちしています。なお、令和5年度は10～15万円（2～3部会）程度の予算を想定しています。詳細は学会ホームページをご覧ください（申請締切10月31日）。なお、関連情報として「東日本大震災対応活動報告書」が提出されました。部会の委員の皆さまのご尽力に感謝いたします。

■令和5年度支部だより

□北海道支部

支部長 小澤 武（小澤建築研究室）

今回はありません。

□東北支部

支部長 市岡綾子（日本大学工学部）

東北支部は、日原もと子先生、若井正一先生が支部長をお務めになり支部活動の基盤を築かれた後、早野由美恵先生がその志を引き継がれ、ここ数年はZoom活用により、遠方でもアットホームなインテリア学会らしい新たな支部活動のあり方を示して参りました。そのバトンを今年度引き継ぐこととなり、身の引き締まる思いであります。まずは顔合わせを兼ねた見学会を、10月21日（土）にNYタイムスが選ぶ「今年行くべき旅行先」第2位に選ばれた盛岡で開催、今年度の支部活動を始める所存です。

□関東支部

支部長 高柳英明（東京都市大学）

今年度より支部長に選出されて以来、4/19、5/24、7/21、9/8に幹事会を開催し、目下関東支部主催にて進行中の連続セミナー『多様な価値基準と呼応するインテリアデザインの最前線』について、逐次詳細決定を行った。またこの間、同セミナーの第1回目である『デザインと投資事業から見た集合住宅』（2023年7月8日15：00-17：15、於：東京都市大学世田谷キャンパス7号館都市フォーラム）を開催し、支部会員・一般学生の計54名の参加があり盛況であった。引き続き第2回では、株式会社丹青社より神田武志氏にご登壇頂き『EC・DX・VRと呼応する商業施設デザイン』についてご講演頂く予

定である。皆様奮ってご参加ください。追伸：今年度より支部長推薦として三名の幹事が新たに加わりました。

□東海支部

支部長 中井孝幸（愛知工業大学）

対面式とオンラインのハイブリットにて、2023年4月18日に第1回支部役員会（13名参加）、5月23日第2回支部役員会（14名参加）を行い、今まで行ってきた「話題提供」を休止し、大会の内容を協議する時間に充て、7月開催の支部総会の議題整理、大会の内容について協議しました。

2023年7月8日に第3回支部役員会、その後支部総会（15名参加）を開きました。役員会では、総会に係る資料確認、大会詳細を協議し、新会長など新体制について報告しました。支部総会では、審議事項が承認され、総会後は日建設デザインフェローの若林亮氏より「のために」と題する講演があり、聴講の学生からも活発な質疑応答がありました。

□北陸支部

支部長 長山信一（富山大学名誉教授）

北陸支部では、JASIS総会の結果に基づき、7月29日（土）に第1回支部総会を開催し、新体制：支部長（長山）、副支部長・会計（佐伯）、総務（棒田）、実行委員（渡邊）、監事（川本）で、事業運営する事とした。当日はWeb会議で京都（白鳥）、横浜（元川）の2名の会員も参加した。総会とシンポジュームの報告の後、令和6年度のJASIS全国大会を北陸支部で開催する旨を報告した。同時に準備した検討案につき皆で議論した。会場は富山大学高岡キャンパス、見学会は高岡銅器の歴史と“あずまだち”民家の見学を予定している。

□関西支部

支部長 中村孝之（生活空間研究室）

今年度は支部幹部の改選により、新体制でスタートしました。5月27日に支部評議員会・総会を開催し、新体制の承認、今年度の活動計画の報告等を行いました。（出席14名、委任状26名）主な活動としては、日本インテリアプランナー協会関西との共催によるインテリアプランニングアワード入賞作品見学会、及び、伝統から未来へつながる五島列島インテリアツアーを計画しています。8月4日には第1回見学会として、竹中工務店がBIMを駆使し、ファブである三栄建設が鉄骨躯体を製作した立体造形ともいえる、三栄建設鉄鋼事業本部ビルの見学会を実施しました。

□中国・四国支部

支部長 谷川大輔（近畿大学）

本年度の中国四国支部では、令和5年6月10日（土）15：00～、オンラインで支部総会を行った。昨年度は、依然として続いていた新型コロナウイルス感染拡大防止の為、様々な活動が行えなかったが、本年度は徐々にイベント等を復活しようと話し合われた。学生ネットワーク・マンセルからも今後の活動方針の報告があった。また支部総会に続いてオンラインで、広島工業大学の上野友輝氏による「これまでの研究室活動」と題した学術講演会を行った。上野氏の古民家リノベーションや日本庭園に関する研究は大変刺激的であった。

□九州支部

支部長 近藤正一（日本文理大学）

1. 昨年度末に「日本インテリア学会九州支部支部長賞」を4件、授与しました（順不同・敬称略）

- ・九州産業大学 建築都市工学部 住居・インテリア学科 地域貢献実践ゼミナール
- ・熊本県立大学 環境共生学部 建築設計・住空間計画学研究室
- ・日本文理大学 工学部 建築学科 八木千尋
- ・九州大学 芸術工学部 工業設計学科 木下 快

2. その他

支部会員の関連する活動については順次、支部ウェブサイトに掲載して参りますので、ご参照ください。

■ 編集後記

広報委員 棒田邦夫（金沢学院大学名誉教授）

今年2冊目の会報をお届けします。

早いもので、年明けより第71号の編集、校正し3月に発行、並行してホームページのページづくりや説明会を行い6月の公開が終わると同時に会報第72号の編集作業に入って、今日はもう9月中旬です。まだ1年を振り返る時期ではありませんが、この1年の3分の2を学会のお仕事に没頭していたようです。自分なりに「よくやったなあ」と驚いています。この驚きも今思えば広報委員の方々のご協力のおかげであり、操作説明会に熱心に参加して色々とアドバイスをしてくださった会員の皆様の前向きなお気持ちに感謝申し上げます。今後とも学会の情報発信へのご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

結びに、6月の新しいホームページでは、ホームペー

■事務局より

事務局長 棒田邦夫（金沢学院大学名誉教授）

〈年会費お支払いのお願い〉

今年度（令和5年度）の年会費ご請求を郵送いたしました。当学会は会員1人々の会員収入によって運営しております。どうかお忘れなくお振込いただきますようお願い申し上げます。

〈入会申込書・退会届のお願い〉

・入会申込書

ホームページの「事務局」ページよりダウンロードできます。また、入会希望者の方は必ずご推薦者1名の記入を忘れずをお願いいたします。

・退会届

退会を希望される方は、退会届の提出を必ずお願いいたします。ホームページの「事務局」ページ内に退会届ページがあります。そのページ内の記入例をご参考に書いてください。

事務局 メールアドレス jimukyoku@jasis-interior.jp

・変更届

勤務先、自宅住所、電話番号、メールアドレスが変わりましたら必ずお知らせください。変更のご連絡がないと学会からの郵便物が届きません。変更の連絡よろしくをお願いいたします。

ジは速報として、会報は記録としての役割のもと、会員の情報伝達手段として発信をさせていただきます。情報がありましたら下記のアドレスまでお知らせください。

広報委員会メールアドレス

jasis.kohoiinkai@gmail.com

■日本インテリア学会会報第72号（2023. 10. 5発行）

編集者：棒田邦夫

発行者：直井英雄（日本インテリア学会会長）

広報委員会：棒田邦夫（委員長）、

上野友輝、角田静香、清水隆宏、

仲谷剛史、元川鳴子

e-mail：k-bouda@kanazawa-gu.ac.jp（棒田邦夫）

■事務局

日本インテリア学会 事務局 伊藤千佳、棒田邦夫

〒920-0941 石川県金沢市旭町1-25-25

電話：080-2386-5652 FAX：076-224-8186

e-mail：jimukyoku@jasis-interior.jp